

新型コロナウイルス感染症の拡大防止について 市民の皆さんへのお願い

4月7日、当市において、初めての新型コロナウイルス感染者が確認されました。
市では、県と連携しながら、市民の健康を守るための適時適切な対応を実施するとともに、情報収集と迅速な情報発信を行っています。
市民の皆さんからは、一層の感染予防対策に努めていただき、過剰に心配することなく、冷静な行動をお願いします。

■問合せ…健康づくり推進課 (☎025-526-5111)

- 不要不急の外出は控えましょう※ 特に、感染が拡大している地域との往来は控えましょう
※日用品の買い物、通院、仕事、個人的な運動を制限するものではありません。

ご家族の帰省についても、配慮をお願いします！
帰省された方においては、外出を控え、2週間程度の健康観察と行動歴の記録をお願いします。

- 3つの密を避けましょう

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面



出典：首相官邸ホームページ (https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html) から一部加工して作成

- 手洗いや咳エチケットなどの感染予防と健康維持に努めましょう
- 発熱などの風邪症状がある場合は自宅で療養し、医療機関を受診する場合には、必ず医療機関に電話で相談した上で受診しましょう

感染が疑われる場合は、「新型コロナウイルス感染症 帰国者・接触者相談センター」に相談を

■症状の目安

- 下記のいずれかに該当する場合はご相談ください。
- ①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている。(解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様)
 - ②強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
※高齢者や妊婦、基礎疾患のある人は、①・②の状態が2日程度続く場合

■相談窓口

新型コロナウイルス感染症 帰国者・接触者相談センター
【平日】上越保健所 ☎025-524-6134 (午前8時30分～午後5時15分)
【土・日曜日、祝日】同上 (午前9時～午後5時)
【上記時間以外】上越地域振興局(警備室) ☎025-526-9317 ※警備室につながりますので、電話番号を伝えてください。担当者から折り返し連絡があります。

症状や感染予防に関する相談などは、市の相談窓口へ

市健康相談コールセンター
【平日、土・日曜日、祝日】 ☎025-526-5111 (午前8時30分～午後5時15分)

新型コロナウイルス感染症に伴う市独自の企業支援を実施

市では、4月9日、第1回新型コロナウイルス感染症による経済状況情報共有会議を開催しました。



▲会議で情報共有を行う様子

市内関係団体の実務担当者が会し、業種ごとの売り上げ減少などの状況や、各団体で受け付けた相談の件数、内容について情報共有を行ったほか、迅速かつ的確な対策の実施に向け、意見交換を行いました。

その後、情報共有会議の内容を踏まえ、4月16日に市独自の企業支援として、雇用調整助成金に係る申請書類の作成費への補助、県セーフティネット資金を利用する際の信用保証料の100%補給、売上が減少している市内中小企業が負担している固定費(家賃、リース料)への助成を開始しました。各事業の詳細は、市ホームページをご覧ください。

■問合せ…産業政策課 (☎025-526-5111、内線1727、1755)

名南保育園開園・名立たちばな保育園開園

名立区の名南保育園と私立たちばな保育園の統合に伴い、3月31日、名南保育園が開園しました。

令和2年1月に完成した新園舎は、4月1日に私立名立たちばな保育園として開園しました。



▲名立たちばな保育園開園・入園式

くびきひよこ園開園

頸城区のくびきひよこ園と南川保育園の統合に伴い、3月27日にくびきひよこ園の開園式が行われました。

この園の機能を移転した南川保育園では、4月1日から未満児保育を開始しました。



▲くびきひよこ園開園式

野澤副市長、早川教育長就任

3月31日付けで任期満了となった土橋均副市長の後任に、4月1日付けで野澤朗副市長が就任しました。

野澤副市長は、健康福祉部長、教育部長、教育次長を歴任した後、平成29年7月に教育長に就任し、令和2年3月31日まで務めました。任期は令和2年4月1日から4年間です。

また、同じく4月1日付けで早川義裕教育長が就任しました。早川教育長は、これまで県義務教育課長、城西中学校長、教育次長を歴任しました。任期は前任の教育長の残任期間である7月26日までです。



早川義裕教育長



野澤朗副市長

安塚区、吉川区「地域おこし協力隊」に辞令を交付

4月1日、安塚区で活動する林克彦さんと、吉川区で活動する森岡正和さんに地域おこし協力隊として辞令を交付しました。

村山市長は「地域に入り、溶け込むのは時間がかかるかもしれないが、根気よく活動をして活躍してほしい」と激励しました。

今後は、それぞれ同区に住みながら、林さんは、地域の食材をいかした料理の企画・提供、森岡さんは、棚田の維持・管理および技術の継承などを行います。



▲地域おこし協力隊に任命された林さん(右)と森岡さん(左)